

令和6年度 東京都女性活躍推進大賞 受賞者

大 賞

	受賞者 正社員数 (うち女性)又は活動地域	取組概要・効果
事業者部門	医療法人社団向日葵 会まつしま病院 <産科・婦人科・小児科・心 療内科を標榜する一次医療 機関> 55人 (55人)	○妊娠・出産・育児の支援に30年以上取り組む中で、人工妊 娠中絶ケアやDV・性暴力被害対応、児童虐待予防など若年女 性が抱える課題に早期に介入する必要性を強く感じ、 子どもと若 者のための街の保健室「ユースウェルネス KuKuNa」を開設 ○思春期保健相談士によるワンコイン相談や 性に関する知識の 提供 のほか、 支援者や保護者を対象に勉強会等 を実施 ○「KuKuNa」で日常生活や学校生活で困難を抱えるケースに 対応するため、病院内に「 思春期外来 」を開設し、 専門的なサ ポートを提供
	東京ガス(株) <エネルギー・ソリューション、 ネットワーク、海外、都市ビジ ネス> 6,480人(1,238人)	○男性が多い社員構成の中、「取得率」だけでなく、「 取得期間 」 にも着目した目標設定を行い、男性育業を推進。「育業推進の 3本柱」を導入 し、経済的支援、キャリア支援、職場支援を実 施 (目標取得率100%、取得期間1か月→実績取得率100%、平均取得期間約60 日) ○子育てに奮闘する共働き夫婦や育業パパをテーマとした CMを 広く継続的に発信し、社会全体に働きかけ、気運醸成に寄与 ○中小ガス事業者で働く女性社員を対象とした「 合同研修会 」 等 ¹ を無償で実施し、 ガスエネルギー業界全体の女性活躍を推進
地域部門	特定非営利活動法人 せたがや子育てネット <地域の子育てネットワーク の形成> 世田谷区	○子育ての困りごとを地域の力で解決するため、 地域で活動する 多くの子育て支援者・団体のネットワーク形成 に向けて20年に 渡り活動 ○ 団体、個人、行政、企業等が連携して地域課題の解決に取り 組むことを目的に、「せたがや区民版 子ども子育て会議」 を年 4回程度開催し、団体同士の連携による多様な取組が実現 (会議各回に約50団体、100名程度が参加) ○ママパパが赤ちゃんを連れて中学校を訪問し、 生徒たちと交流 する体験型授業「赤ちゃんを連れて学校へ行こう！」 のほか、 学 生ボランティアの受入れ等の人材育成事業 など多数発案・実施

優 秀 賞

	受賞者 正社員数 (うち女性)又は活動地域	取組概要・効果
事業者部門	あすか製薬(株) <医薬品の製造、販売等> 717人 (217人)	<ul style="list-style-type: none"> ○「不定愁訴」や「がん」の早期発見のため、検査費用を会社が負担し定期健診に組み入れるとともに、「がん保険」等への加入費用を会社が負担 ○経営トップと従業員の意見交換会での対話により、ライフイベントによる休職者をサポートした従業員に対する「ワークサポート応援金」を創設 ○Webサイト「女性のための健康ラボMint+」による情報発信に加え、高等学校向けに保健体育副教材を作成・無償配布
	伊藤忠商事(株) <総合商社> 4,098人 (1,026人)	<ul style="list-style-type: none"> ○20時以降の残業を禁止・朝8時以前の早朝勤務推奨する「朝型フレックスタイム制度」を導入。9時から15時をコアタイムとし、15時以降の早帰りを促進。8時前出勤者には、割増賃金を支給、軽食を無料配布 (8時前入館社員55%、20時以降退館社員7%) ○社員の声をもとに、小学校1~4年生を対象に「職域学童保育」を実施。春・夏休み期間中の安全な居場所の確保や学習サポート、SDGsプログラムを提供。近隣区立小学校児童にも提供
	(株)朝日新聞社 <情報通信業> 3,248人 (738人)	<ul style="list-style-type: none"> ○多様性確保を目指した「ジェンダー平等宣言」のほか、「ジェンダー平等宣言+」を策定し、女性のいない会議をつくらない、部門別女性登用数値目標の公開、若手社員育成のためのジョブシャドーイング研修等を実施し、宣言内容の達成度を公表 ○2024年国際女性デーでは、創刊以来初めて新聞題字を「ミモザの花」に特別デザイン。ジェンダーを学ぶ教材として特別編集版を製作し、大学講義等での活用や教育現場に教材として提供
地域部門	特定非営利活動法人 manma <家族留学事業の運営等> 豊島区	<ul style="list-style-type: none"> ○ライフステージごとの悩みをもつ若者が、多様なキャリアをもつ子育て家庭を訪問し、子育て体験や夫婦との対話を通して、様々な家庭の在り方を知る体験型プログラム「家族留学事業」を運営 (これまで861名が参加。全国約600の受入れ家庭のうち都内234家庭をマッチング) ○カップルや男性単独の参加も多く、参加者の約9割が「共働き・仕事との両立をすることへの不安が解消された」「職場の子育て中の社員や街で見かける子連れ家族に対しての思いやりや配慮が強まった」と回答

特別賞

※特別賞…他の団体等への好事例となる点が見受けられ、かつ今後一層の成果が期待される取組を行う団体（又は個人）に贈呈

	受賞者 正社員数（うち女性）又は活動地域	取組概要・効果
事業者部門	<p>巴山建設(株)</p> <p><建設業></p> <p>59人（6人）</p>	<p>○男性の多い建設現場において、女性社員の声を経営者に届けスピーディに実現する「ともやま小町」を実施し、女性が働きやすい環境を整備</p> <p>○女性の視点を生かした「建設現場視察プロジェクト」の実施や、学生職場体験により多摩地域の建設業界における女性活躍を普及啓発</p>
地域部門	<p>認定特定非営利活動法人サービスグラント</p> <p><「ママボノ」によるプロジェクト型支援のコーディネート等></p> <p>渋谷区</p>	<p>○復職に向けた不安解消を目指して、育業中・離職中のママたちがプロボノに参加することで、仕事復帰のウォーミングアップと同時に、社会貢献が行える場「ママボノ」を運営 (東京都在住参加者累計380名、都内支援団体累計69団体)</p> <p>○参加者の約8割が「復職時の不安を解消できた」「復職後、キャリア面でポジティブな変化があった」、支援を受けた団体すべてが「支援を受けてよかった」と回答</p>